

## 第1回川口市青少年問題協議会 議事概要

- 日時 令和5年6月12日(月) 14時～
- 場所 川口市立青木会館 3階 会議室
- 出席委員(敬称略)  
林委員、渡邊委員、小野寺委員、伊藤委員、丸山委員、近藤委員、森元委員、菊地委員、江原委員、富田委員、小柳委員、稲澤委員、梅田委員
  
- 事務局 田村子ども部長 小山青少年対策室長 久保田主幹 西澤主査  
大塚主査 田村主事
- 次第 委嘱書交付  
委員自己紹介  
会長の選任  
会長代理の指名  
議事
  - (1) 川口市青少年問題協議会について
  - (2) 川口市の青少年対策について
  - (3) 川口市の青少年の現状について
  - (4) 青少年の健全育成等について
  - (5) その他
  
- 傍聴人 1人
- 会議資料 令和5年度第1回川口市青少年問題協議会資料

1 開会

2 委嘱書の交付

3 市長あいさつ

4 委員自己紹介

5 事務局紹介

6 本会議について

〈 委員の半数以上の出席により、会議が成立する旨確認 〉

〈 会議録を作成、公開する旨確認 〉

〈 会議は公開であり、本日は傍聴者が1名いる旨確認 〉

7 会長の選任

〈 事務局案を提示、他委員より異議なし 〉

〈 小野寺委員が会長に就任、会長あいさつ 〉

8 会長代理の指名

〈 小野寺会長が伊藤委員を会長代理として指名 〉

〈 伊藤会長代理あいさつ 〉

9 議題

〈 会長が議長となり、議事進行 〉

【小野寺議長】

本会議の議事録を作成するため、議事録署名人を菊池委員、富田委員にお願いする。

〈 委員承認 〉

【議長】

議題（1）川口市青少年問題協議会について、（2）川口市の青少年対策について、  
（3）川口市の青少年の現状について

〈 資料に基づき事務局及び川口警察署生活安全課長 稲澤委員から説明 〉

〈 質疑応答 〉

**【委員】**

資料P17（非行少年補導状況）について、子ども達が起こした事件のうち、外国人の割合について教えてほしい。

**【委員】**

そこまでのデータは持ち合わせていないが、日本人と外国人が入り混じったグループが多いという印象がある。

**【委員】**

最近、グループで窃盗などをやっているケースが多いのか、個人でやっているケースが多いのかを知りたい。

**【委員】**

オートバイの窃盗が多発しており、本部とプロジェクトと組んでかなりの人数を検挙した。地元の仲間ではなく、SNSで繋がって顔も知らない人間と一緒に窃盗をしている。スマホ1台で寄せ集めてられた他人同士で、足もつきづらく捜査も困難を極めている。今後対策を練っていく。

**【委員】**

①昨年度の自然体験村デイキャンプから今年度は宿泊のキャンプへと元に戻すようだが、開催が年1回だと参加できる人数が減ってくると思う。その辺はどのように考えているか。

②13ページのいじめ防止推進事業の中で相談13ケースは電話とのことだが、電話をかけてくるのは子どもか。それとも親か。また、電話はナンバーディスプレイなのか。

**【青少年対策室長】**

①40名の定員に対して応募がかなり多い状況である。キャンプリーダーなどの受け入れ側の体制整備もあるが、今後より多くのお子さんに参加できるよう検討していく。

②実際に子どもだけではなく、親や親戚など色々な方が電話をかけてくる現状である。電話は、ナンバーディスプレイ対応である。

**【委員】**

子どもが電話をかけてきても途中で切ってしまうこともあるので、ナンバーディスプレイで番号が確認できるならば安心である。

**【委員】**

青少年の年齢は、だいたいどれくらいを想定しているのか。

**【青少年対策室長】**

青少年の捉え方は非常に幅広く様々であり、法や施策によっては40歳ぐらいまでが若者や青少年と見ることもある。

**【委員】**

事業の取り組みについて、市全体で参加対象者の何%が参加人数という目標値を定めていない。あるいは、目標に達していない場合は、どんな対策をして目標値を伸ばしていくか検討はしているのか。

**【青少年対策室長】**

イベントや行事によって参加人数がそれぞれのため、一概に何%と表示はしていないが、今後検討していきたい。

**【委員】**

アドベンチャープレイ事業について、昔ゴリラ公園でやったと聞いているが、開催地の選定はどのように決めているのか。

**【青少年対策室 主査】**

新春伝承遊び祭りの際にゴリラ公園でコロナ前に1回実施をしている。車で来る参加者が多いことから、選定条件として近くに駐車場が確保できる公園でイベントを実施している。

**【委員】**

資料18ページに記載してある凶悪犯や知能犯、風俗犯について、例えばどのような犯罪があったか。青少年問題を考えていくにあたり参考として聞きたい。

**【委員】**

凶悪犯は強盗、強制わいせつ、窃盗は万引きやひったくり、知能犯は詐欺、風俗犯は、風俗店の客引きなどが代表。これらに当てはまらないような細かいものもあるが、わかりやすく言うところである。

**【委員】**

インターネット等の普及で人との接触機会が少なくなっている。孤独に対してストレ

スがいきなり爆発して刃物の使用事件となるケースが全国的にはあるが、川口市にはそういった犯罪の傾向はあるか。

**【委員】**

非行少年というよりは、児童相談所と連携する件でスマートフォンのゲームに依存する子どもが多いと感じる。学校に行かない、引きこもり等で親子間でのトラブルとなり、親がお手上げの状態で警察に相談してくることがある。

**【委員】**

地域としても子ども達を良い方向に導きたいが、親の協力体制が整っていない。父親は子どもに関わらないし、母親も対応に苦慮しているようだが、親に対しても何かできないかという気持ちがある。

**【議長】**

この場で全部読み解いて質問するというのは難しいため、次の会議には事前に資料を配布してほしい。また、今回出せなかった質問や意見がある場合は、次回の会議でその時間を設けてほしい。なお、校長先生が今回2人欠席しているため、今回の資料を渡して同じような状況で質問をできる時間を作ってほしい。

**【青少年対策室長】**

承知した。

(4) 青少年の健全育成等について

**【議長】**

議題(4) 青少年の健全育成等について説明を求める。

〈 資料に基づき事務局から説明 〉

〈 質疑応答 〉

**【委員】**

青少年相談員が現在5名とは本当に足りない。具体的に増やす方策はあるか。

**【青少年対策室長】**

資料に記載されているデータが古く、令和4年度は14名と増加の兆しはある。増やしていく取り組みは、小野寺会長からもアドバイスをいただいております、まずは市内の

大学への募集などを考えている。青少年相談員に限らず、青少年に関する若手のリーダーを増やし、みんながそれぞれ関わって垣根なしに色々な事業に携われるように考えている。様々な方法でアプローチしていきたい。

**【委員】**

次回の会議でもよいが、具体的にどのような方策があつて、どのように動き始めたとか、そういったことをここで議論できればと思っている。

企業や地域との連携でいえば、例えば中小企業家同友会とビジネスコンテストで支援策を作っている。私たちも商工会議所女性会と青年部から来ているため、積極的に声をかけていただければ、青少年対策室と企業とも連携ができると思う。そのために、お声がけをどんな形でしたらよいか。こちらから声をかけたらよいか来るのを待っていたらよいか分からないので、次回までにご回答いただきたい。

**【青少年対策室長】**

ありがとうございます。ぜひ、色々ご相談させていただきたい。次回までにまた検討してご報告できるようにしたい。

**【議長】**

この会議では、皆さんからのご意見をできるだけお話していただきたい。今回の件も、皆さんにアイデアがあるなら、ぜひこの場でお話をしていきたいし、そういう場にしていきたいと考えている。

**【委員】**

資料9、14、20ページにあるアドベンチャープレイ事業のことで、現在は前川第6公園、南平児童交通公園の2つの公園を拠点に活動されている。私は芝地区の住民で、芝地区にも交通公園があると思うが、今後広げて充実させていく考えはあるか。

**【青少年対策室長】**

現在プレイリーダーハウスというものを設置して、会計年度任用職員（パート職員）を配置して行っている。今後その会場が増えるかは、実績や参加具合、評判等を確認しながら、検討していく。また、プレイリーダーハウスは公園課との兼ね合いもあるため、当室の一存で作れるとは言えない。検討課題として考えていく。

**【委員】**

資料20ページにある青少年相談員とはどのような団体か。どのように子どもを育成しているのか教えてほしい。

**【青少年対策室 主幹】**

青少年相談員については、子ども会で活動する方や様々な団体から応募があり、県から委嘱を受けている。具体的な活動としては、公民館事業や青少年対策室の事業にもお手伝いをいただいている。今後は自主的に活動できるような組織に育成したいと考えている。

**【委員】**

相談員をすぐに育てることはできない。また、相談員になってからいかに長く続けていくか課題である。

**【青少年対策室長】**

かつては百人くらいといたと聞いた。それが一時解散して、1人、2人という時代もあり、現在14人まできた。分母が大きいといろんな活動ができる。まずは、この分母を増やすことを心掛けたい。その中で自主的な活動もできるようになると考えている。

**【委員】**

私も昔鳩ヶ谷で子ども会の活動をしていた。子どもや親に声をかけて、中学生を育成してきた。今は子ども会を卒業している。相談員は、ボランティアで大学生だと思うが、アルバイトをする人が多いのでちゃんと組織を作っていただきたい。

**【議長】**

今回は2年間の協議会の最初の会議のため、皆さんから意見を出していただき、青少年対策室で今後の企画やプログラム等の参考にしてほしいと思う。各自1分ぐらいでまとめてこの場で意見を出していただき、それをまた検討する機会を作りたい。

**【委員】**

所属団体が自然環境系の団体であり、コロナのためにやむを得ずに活動が中止・見送りとなった。自分たちも子どもたちもがっかりした。昨年春から少しずつ実施できるようになってきて、この夏休みには小・中学生向けに事業を準備している。それぞれ募集をかけて良いものができればと思う。資料20ページにある4つの丸が重なっている所の力を借りて関わっていききたい。また、青少年対策室の力をお借りして、青少年育成に少しでも寄与できるようにお力添えをさらにお願したい。

**【委員】**

私が普段個人的に関わっているご家庭のお子さんは、孤立されていたり、様々な困窮

が複雑に絡み合って養育者が心身ともに病んでいたりすることが多い。青少年の健全育成はお子さんにスポットが当たっていると感じる言葉。青少年を中心にサポートするのがこの部署だと思うが、家族が孤立しているケースが多いので、家庭へのサポートをどう連携していくかということをお願いしたい。

**【委員】**

青少年問題だとすごくテーマは多岐にわたる。コロナ明けで今年度から事業を行っていくけれども、これから先も継続していくものに集中して、本当に子供たちの育成に役立つ事業を絞っていく必要がある。この協議会の意見を集約できればよいと思う。

**【委員】**

健全育成というテーマが大き過ぎる。健全育成に携わってない、繋がってない人たちをどう支えるかが必要。しかし、親も閉鎖的になっており、子どもが引きこもっている場合はそこへ誰も入り込めていけない。親が自分たちだけで完結しており、地域をあまり必要としてない。親が親になれず、地域と一緒に子供たちを育てていく感覚がなく、子どもが苦しんでいるのが現状。親がバリアを張っている状況なので、そこをもう少しアプローチができるとよくなると思う。

**【委員】**

資料20ページで皆さんが言っていた連携を取る話だが、PTAでも話が出ていて、地域や企業、市との連携をどうやって取るのかその対策を今後市はどうやっていただけるのかということがある。あと、もう1点。学校で起こったいじめの話は、青少年対策室だけでは多分解決できないので、教育局の指導課も一緒に参加できるのかということを知りたい。

**【委員】**

今までの話に同感である。保護司の立場として、家族関係が悪くても地域の接点がもう少しあればよいと思う。自己肯定感がなくなって居場所や生きる場所がないという状況の中で、地域力をいかに皆さんで育てていくかというところから検討していきたい。

**【委員】**

青少年対策室へのお願いは、まず数値目標を明確にしていきたい。その目標にどれぐらい足りていないのか出していただきたい。数値がないと、その次に対策が立てられない。あと、役所の中が縦割りだとなかなか連携はできないと思うが、連携を取ってほしい。そして、中央地区のJR川口駅周辺には引っ越してきた若い夫婦がたく



さんいる。その方達にきりり川口情報メールなどを使って呼び掛けて、巻き込んで参加してもらおう方策を検討していただきたい。

**【委員】**

1点目は、各商工会議所青年部では現時点で160事業所が会員となっているので、学校や地域のイベントなどで青少年向けのセミナーや講演会も開催できると思う。2点目は、青年部が主管している川口花火大会があり、親子向けのボランティア活動ができると思う。最後に、大人が介入できないサイバー犯罪の事例検討が必要。私達が知らないと何も解決策が生まれません。そのため、他国の対策事例も知りたい。これが、政策提言にも繋がっていくと思う。

**【委員】**

少年野球のスポーツ少年団に所属をしている。約3年後に中学校の部活がほぼ廃止になる。その受け皿として地域の皆さんに協力をという話が少しずつ出てきているが、どうやっていくのかを示していただきたいと思う。青少年問題の方で取り上げることができたらお願いしたい。

**【委員】**

すぐできることだが、鳩ヶ谷のおかめ市での街頭補導の撤収が早すぎる。テキヤさんたちが片付けるのと一緒に片付けてしまい、8時か8時半ぐらいには暗くなっている。この補導本部をもう少し長くやってほしい。

**【委員】**

警察として非行防止という観点から、街頭補導活動や非行防止教室、立ち直り支援活動などを実施している。コロナが収束して、街頭に人が出るとそれに伴って一般的な犯罪は増える。防犯パトロールが重要で連携をしていただければ警察としてもありがたいし、地域の見守り活動に繋がると感じる。

サイバー犯罪の定義は、非常に難しい。LINEで悪口を言うのがサイバー犯罪に該当するののかというと難しいところ。学校であったケースを紹介していただき、情報共有するののもひとつのあり方かと感じる。引き続き、その辺を踏まえて青少年対策室と連携を取っていききたい。

**【委員】**

警察の立場としてではなく、一般人としての意見で、非行少年は打ち込むものがないという暇を持て余している。私個人的にスポーツは非常に素晴らしく大事だと思っている。共働きの親が多く送迎ができなくて、子ども達がスポーツをやりたいくてもで

きないという状況が非常に問題となっている。どこまで行政が関わるかわからないが、本当に皆で考えていければ、子供たちもすくすく育って、非行も少しは減るのではないかと考えている。そういう問題も解消できれば私も嬉しく思う。

**【議長】**

皆さんから発表していただいたお話を元に今後の会議で話し合うテーマを考えていきたい。全部一遍には無理なので、選択し検討させていただきたい。私と伊藤会長代理および事務局で次回の会議までに決定してよろしいか。

**【各委員】** 異議なし

(5) その他について

**【議長】**

議題（5）その他について説明を求める。

〈 資料に基づき事務局からスケジュールについて説明 〉

〈 質疑応答 〉なし

**【議長】**

これで全ての議題が終了したが、その他に各委員より質問があるか。

**【委員】**

資料20ページにボーイスカウトやスポーツ少年団など青少年団体が紹介されているが、多岐に渡る分野の団体や組織で違う手法、違う観点から、青少年育成に関わる場所はもっと多いのではないかと思う。もっと力を集約して、地域や学校、関係団体企業で連携が進んでいくと、さらに青少年育成が進んでいくと思う。

**10 閉会**

以上